

2009年度総会 議事録

2009年5月10日(日)中央公民館 大会議室

出席

粕壁、内牧、立野、八木崎、幸松、豊野、豊春、備後、武里西、内牧、上沖、宮川、緑、藤塚
事務局5名

議長：粕壁

書記：内牧

1. 代表挨拶(立野)

連絡会ができて、クラブ間の交流と活動が行われるようになったが、事務局ができた影響が大きい。父母会は2、3年でメンバーが入れ替わるが、OBを含めた事務局の存在により、継続的な情報の共有と活動が可能になった。これを各父母会の活動にもぜひ活かして欲しい。

2. 議事

第1号議案

1-1) 2008年度活動報告(事務局)

まず、意見をまとめられる組織ができたという成果がある。

大規模化については、70名超えは分割する方向に、方針が変わってきた。今後も注目していく必要がある。

指定先の更新にあたって、強い訴えにより、保育環境の継続が確保できた。

情報交換の場としての活用は、危機意識の共有と言う意味では成果があったが、もっといろんな事(クラブ固有の問題や楽しい話題なども含めて)を交流していきたい。

1-2) 2008年度決算報告(事務局)

HPを活用して欲しい。

交通費は、会議時の駐車場代も含む。

見舞金は、連絡会の要請で会議出席時に骨折したため。

1-3) 監査報告(豊野)

第2号議案

2-1) 2009年度活動方針案(事務局)

基本的な活動目的は全年度と同じ。

新たな問題は、分割に向けて、実際にどの様な保育を実現していくか。分割した場合に、毎日の生活をどう組み立てていくのか(遊び方は?おやつは?父母会は?...)。父母も真剣に考えていく必要がある。

2-2) 2009年度予算案(事務局)

ほぼ昨年度の実績に合わせた。

活動費は特に増強。研修会などに、父母も積極的に参加して欲しい。

< 質疑 >

(立野) 特別会計はどうするのか？

(事務局) 決めていない。

特別会計は、保育の会から引き継いだ繰越金で、連絡会の単年度の予算とは切り離して管理している。この中には、民設時代からの「助け合い基金」も含まれており、将来の状況変化にも備えて当面はストックしておく予定。

< 採決 >

第1号議案・・・全会一致で可決

第2号議案・・・全会一致で可決

3. その他質問、意見

(指導員) 国の少子化対策部会で、保育を変える動きが出ている。市町村が管理して保育サービスの提供場所を決定する従来のやり方をあらため、市町村が保育サービスを提供する事業者を紹介し、父母の責任で個々に事業者と交渉するような方式へ。自治体の責任が薄くなる。今後も情報をお知らせするので関心を持っていただきたい。

(豊春) 今までの歴史がわからないので、今後どう活動していけばいいのかわからない。

(事務局) 春日部の学童の歴史についてはホームページを参照いただきたい。

連絡会は活動団体であり、情報収集とクラブ間交流により、全体として行政に我々の望む運営を実現する様、訴えていく活動を行う。

(事務局) 豊春クラブが新たに加盟しましたのでよろしくをお願いします。

4. 役員選出

代表・・・粕壁クラブ

副代表・・・内牧クラブ

事務局長・・・土井

以上